

科目名	P A L（専門職韓国語）	科目コード	1261	単位数	2
担当者名	李 鳳	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

●授業のねらい

「アジアの時代にアジアを学ぶ」という本学の教育目標を踏まえ、高度な韓国語コミュニケーション能力の涵養をめざす。P A L（専門職韓国語）で学んだ内容を深化させ、流暢な会話を身につけるためだけではなく、幅広い情報の獲得ができる実力を養う。また、韓国語能力試験中高級（4・5級）の合格を目指す。

●到達目標

韓国語能力試験4・5級の合格を目指す。具体的には「一般的な業務遂行に必要な言語能力（4級）、専門分野においての研究や公式、非公式の脈絡や口語的、文語的脈絡によって言葉を適切に区別して使う（5級）」レベルに到達する。
 韓国語の文章作成能力の向上を目指す。与えられた課題について論理性と説得力のある韓国語の文章で意見を開陳する。

●授業内容

- 1週目 オリエンテーション
- 第1課：季節と天気
- ・天気に関する語彙を習得し、天気予報を理解する。
- ・韓国の四季に関する文章を購読する。
- ・北海道の天気を韓国語で作文する。
- 2週目 第2課：呼称
- ・韓国語の呼称の特徴を理解する。
- ・日本と韓国の呼称の類似点と違いを考えて韓国語で発表する。
- 3週目 第3課：日帰り旅行
- ・ソウル近郊日帰り旅行に関する文章を読んで理解する。
- ・札幌日帰り旅行の計画を韓国語で作成する。
- 4週目 第3課：日帰り旅行
- ・札幌日帰り旅行の計画を韓国語で発表し、質問を受ける。
- 5週目 第4課：韓国の麺とお餅
- ・韓国の食べ物について書かれている文章を読んで理解する。
- ・日本や北海道の食べ物や食材について韓国語で説明する。
- 6週目 第5課：美しいお話
- ・韓国で行われる非営利団体の活動に関する説明文を理解する。
- 7週目 第1課～5課の復習を行い、学習内容の定着を図る。あわせて中間テストを実施する。
- 8週目 第6課：過去と未来
- ・北海道の過去について韓国語で作文し、発表する。
- 9週目 第7課：光と風がある家
- ・韓国の伝統家屋について書かれている文章を読解する。
- ・自分が現在住んでいる家の長所と短所を韓国語で話す。
- 10週目 第7課：光と風がある家
- ・自分が未来に住みたい家について韓国語で作文し、発表する。
- 11週目 第8課：生活の知恵
- ・荷造りのノウハウに関する文章を理解する。
- 12週目 第8課：生活の知恵
- ・自分が知っている生活の知恵を韓国語で作文して発表する。
- 13週目 第9課：地球村の課題
- ・現在、私たちが抱えている問題について(環境汚染、テロ、地震など)どのような課題があるか作文し、発表する。
- 14週目 第10課：私たちの作品
- ・韓国映画についてその感想を作文し、発表する。
- 15週目 第6課～10課の復習を行い、学習内容の定着を図る。あわせて期末テストを実施する。
- 16週目 まとめ
- 但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行う。

●準備学習(予習・復習)等の内容

課題は事前に準備し、必要に応じてネイティブのチェックを受けること。
 課せられた発表課題に対する事前の準備を徹底して行っておくこと。
 約2時間程度の準備学習時間を要する。

●成績評価の方法・基準

中間試験（30％）＋期末試験（30％）＋課題（20％）＋授業態度（20％）という比率で成績を算出する。欠席日数が授業日数の3分の1を超えた者は評価の対象としない。

●履修上の留意点

- ・3回遅刻は1回分の欠席として取り扱う。
- ・欠席する場合は急病ではない限り、事前に知らせること。
- ・授業態度は、準備物の用意、課題、発言の積極性などにより評価する。

●課題に対するフィードバックの方法

課題発表に対しては、教員が修正事項などをコメントする。それに基づいて学生が修正し、発表を行う。発表時にさらに教員がコメントする。最終的にレポートを作成し、提出してもらう。それについても修正箇所をフィードバックするので学生はそれを参考に修正し、最終提出する。

● **テキスト**

新大久保語学院『改訂版できる韓国語中級 』（DEKIRU出版）2700円

● **参考書**

油谷幸利『間違いやすい韓国語表現100中級編』（白帝社）1800円

油谷幸利『間違いやすい韓国語表現100上級編』（白帝社）1800円

● **更新日付**

2020/01/29 02:17